

## 新山下二丁目保育所における自己点検・自己評価(職員用)

\* 2024年度の保育全般を各職員が総合的に評価し、その平均値を掲載しました。

- 5 : たいへん良い  
 4 : 良い  
 3 : 大体良いが更に良くできる(もう少し学べば深められる)  
 2 : 検討を要する  
 1 : 改善を要する

### I. 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価
① 目標 保育	(1) 目標は、各施設や、地域の特色を生かしているか。	4.2
	(2) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	3.9
② 保育	(1) 保育所保育指針をふまえ、指導計画を乳幼児の実態に即して作成しているか。	4
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか	3.7
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。	3.4
	(4) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	3.7
③ 行事	(1) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	4.1
	(2) 乳幼児の自主的・実践的な活動にしているか。	3.9
	(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	4
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	4.2
④ 食育	(1) 目標は、全職員で検討され共有されているか。	3.9
	(2) 食に興味を持てるよう、年齢別の食育活動を行っているか。	4

### II. 開かれた保育所づくり

項目	内容	評価
① 施設 連携 交流	(1) 他施設等と交流をしているか。	3.9
	(2) 参観や保育に参加する機会があるか。	4.3
	(3) 必要に応じて他施設と情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	3.8
② 地域 家庭	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日・見学日・保育参加日等を設定しているか。	3.9
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	3.7
③ 子育て 支援 の 推進	(1) 地域の子育て支援として、園庭や保育室等を開放しているか。	4.7
	(2) 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	4.2
	(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	4
④ 情報 の 発	(1) 保育園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	4.3
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や関係施設等に周知しているか。	4.3

### Ⅲ. 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

	内容	評価
① 体制	(1)職務内容が明確で協働できる体制になっているか。	3.8
	(2)係りや仕事の分担・割り当ては適切か。	3.5
② 運営	(1)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	4
	(2)打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	3.5
	(3)「ヒヤリハット」を記録・共有し、以後の保育に役立てているか。	4.4
③ 年齢別・ クラス 運営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や乳幼児の実態に基づいて設定しているか。	4.2
	(2)年齢別・クラス目標に即して短期・長期のねらいを適切に設定しているか。	4.2
	(3)同年齢および異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	3.9
	(4)職員の連携は十分に取れているか。	3.8
	(5)評価(資料・諸記録)はしているか。	4.1
④ 保健・ 安全 指導	(1)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	4.5
	(2)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のために、家庭への啓発を行っているか。	4
	(3)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	4.1
	(4)基本的なアレルギーの種類や特質について理解し、アレルギーの子どもの援助をしているか。	4.2
⑤ 研修	(1)研修の計画・運営は適切か。	3.7
	(2)施設内・施設外研修に積極的な姿勢で参加し、専門知識や技能を高め、日々の保育や業務に反映させているか。	3.7
⑥ 情報	(1)守秘義務を守り、乳幼児や保護者に関する個人情報을 適正に取り扱っているか。	4.5
	(2)子どものことやクラスのできごと等で必要なことは、職員間で報告・連絡・相談をし、情報を共有しているか。	4
⑦ 施設・ 設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	4
	(2)遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	3.8
	(3)不審者に対応する配慮を行っているか。	4.1
⑧出納・経理	(1)資材の有効利用や経費の節減に努めているか。	4

## 新山下二丁目保育所における自己点検・自己評価(管理職用)

\* 2024年度の保育全般を各職員が総合的に評価し、その平均値を掲載しました。

- 5 : たいへん良い  
 4 : 良い  
 3 : 大体良いが更に良くできる(もう少し学べば深められる)  
 2 : 検討を要する

項目

### I. 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価
① 保育目標	(1) 目標は、どのように特色を生かしているか説明できる。	4
	(2) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図れるようにしているか。	3.6
② 保育	(1) 保育所保育指針をふまえ、指導計画を乳幼児の実態に即して作成しているかを確認し、必要に応じて適切に助言、指導をしているか。	3.4
	(2) 日々の保育に目を配り、必要に応じて適切な助言や指導、声掛けをしているか。	3.2
	(3) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	3.6
③ 行事	(1) 計画・実施・評価・改善の体制に自ら関わり、実践しているか。	3.6
	(2) 乳幼児の自主的・実践的な活動にしているか。	4
	(3) 保護者の願いや意見を取り入れられるよう、日常の中で保護者とのコミュニケーションをとっているか。	3.8
④ 食育	(1) 目標は、全職員で検討し、かつ共有できるようにしているか。	3.4
	(2) 年齢別の食育活動が行われるように助言をしているか。	3

### II. 開かれた保育所づくり

項目	内容	評価
① 施設間連携交流	(1) 他施設等と交流をしているか。	3.6
	(2) 参観や保育に参加する機会を設け、周知しているか。	4.8
	(3) 必要に応じて他施設と情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	3.6
② 地域・家庭	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日・見学日等を設定しているか。	4
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	3.6
③ 子育て支援の推進	(1) 地域の子育て支援として、園庭や保育室等を開放しているか。	4.8
	(2) 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	3.8
	(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	4.2
④ 発信情報の	(1) 保育園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	4.8
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や関係施設等に周知しているか。	4.4
⑤ 外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映させているか。	4
	(2) 地域や保護者意見を施設運営に反映しているか。	4

### Ⅲ. 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

	内容	評価
① 体制	(1)職務内容が明確で協働できる体制になっているか。	4
	(2)係りや仕事の分担・割り当ては適切かどうかを見直しているか。	4
② 運営	(1)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わられるような環境作りをしているか。	3.2
	(2)打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	3.6
	(3)「ヒヤリハット」を記録・共有するようにし、以後の保育に役立てられるようにしているか。	4.2
ク③ ラ年 ス齡 運別 営・	(1)年齢別・クラス目標、およびねらいは、保育目標や乳幼児の実態に基づいて設定しているかを確認し、必要に応じ適切に助言、指導をしているか。	3.8
	(2)職員の連携は十分に取れているか目を配り、必要に応じて助言等を行っているか。	3.6
	(3)評価(資料・諸記録)等に目を通し、必要に応じ適切に助言、指導および改善を行っているか。	3.8
④ 保健 ・ 安全 指導	(1)避難訓練・交通安全指導の計画を作成し、それに基づいて適切に実施しているか。	]4.2
	(2)乳幼児の健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のために、家庭・地域社会・関係機関等と適切に連携を図っているか。	4
	(3)基本的なアレルギーの種類や特質について理解し、アレルギーの子どもの援助をしているか。	4.4
⑤ 研修	(1)研修の計画・運営は適切か。	3.8
	(2)自身も含め、職員全員が施設内・施設外研修に参加できる機会を作り、職員の資質向上に努め、日々の保育や業務に反映できるようにしているか。	4
⑥ 情報	(1)守秘義務を守り、乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	3.8
	(2)子どものことやクラスのできごと等で必要なことは、職員間で情報を共有できるようにし、自身も状況の把握に努めているか。	3.8
	(3)公文書收受、発送、処理は適切に行っているか、また各表簿は適切な方法で作成・処理しているか。	3.8
⑦ 施設 備設 ・	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているかを確認し、必要に応じて適切に助言、指導をしているか。	3.4
	(2)不審者に対応する配慮を行っているか。	3.6
⑧出納・経理	(1)資材の有効利用や経費の節減に努めるよう心がけ、職員が意識できるようにしているか。	3.4

## 【新山下二丁目保育所 総評】

開所20年を迎えた新山下二丁目保育所。目標を昨年から引き続き「もう一度ていねい」とし、子どものココロとカラダの発育に関する環境面についての取り組みを職員に発信し、共有を心がけてみた一年です。人的な環境と物的な環境を継続的により良いものにしていくために、職員が自ら係を細かく設定し責任をもって取り組む項目が増えたことが保育の水準を上げることに繋がっていると思われまます。また、職員の意識が「ていねい」に物事を考えることで子どもの見方、かかわり方に変化もあり、それを共有することで子どもは安心して生活を送れる環境になってきています。ひとりひとりの成長を職員全員で見守っていく意識が保育所の雰囲気を作り上げている大きなポイントでもあると思っています。

地域や保護者と共同の取り組みも再開し、好評を得ることが大きかったので今年度の計画をもとにますます地域に貢献できるよう、また保育所の運営に協力していただけるように広がりや関係性を深めてまいります。今年度より始めた「園長との懇談会」で保護者とも園の運営や子育ての喜び・悩みなどを共有できたので今後も参加しやすい形を考慮しながら継続していきます。

子育て支援事業も「まりんまりん広場」「ほんわかひろば」にリピート利用者が増えていることは喜ばしいことでもあります。新たな親子さんに利用していただけるよう一層の普及を心がけます。

一時保育「ウェルカモメ」も利用も土曜日まで拡大し、また、お預かりする年齢を引き下げたことで利用希望者は増え続け育児支援の一役を担うとともに、経営の補填にも貢献している状況になりました。

反省点としましては前半は子どもの事故やケガが少なかったのですが、後半は増えていたので「遊び中の見守り方」を再度研修したいと考えます。

また、食育に関する取り組みや研修を増やして健康な心と体づくりを強化していきます。

新山下二丁目保育所の「物語の生まれる園庭」に、毎年タネだんごや花の種をまき、遊びに来る虫たちから小さな命の尊さを学び、アスレチックや築山に挑戦しながら遊びこむ……そんな子どもたちの姿を大切に育める保育所でありたいと来年度も研鑽をしていきます。

何より、保護者や近隣の皆様のあたたかいご理解やご支援を今年度は感じる事が多くありました。感謝申し上げます。

園長 小林 千恵